

新たなビジネス事例

印刷イノベーション最前線!

このニュースレターでは、優れた印刷事例や、印刷以外の分野での先進的な取り組みをコンパクトにお届けします。

独自商品で異業種進出例

和洋菓子の企画・製造で市場開拓 マルト株式会社(石川県小松市)

印刷事業を軸としながらも、デジタルコンテンツ事業、情報発信事業、ネーム事業を展開しているマルト株式会社(本社:石川県小松市城南町126、代表取締役社長 今村幸彦)は、1998年に菓子処・石川県の土地柄を活かして、地域ごとの特性を持ったお菓子の企画・製造事業をスタートし市場開拓している。

印刷事業と製菓事業を保有している同社では、ともに自社工場を保有し、製品の企画・デザイン・印刷・製造までを一括して行う一貫体制を構築。相互に連携したビジネスを強みにしているのが特長である。今や製菓事業は同社の一大事業に成長し、全体の売上の5割以上を占めるまでになっている。

主な製品は、「バイクドーナツ」「ごまだれ餅」「黒蜜きなこ餅」などで、どれもこだわりの商品として人気を博してい



マルト製菓工場全景

るが、特にバイクドーナツは看板商品としてロングセラー商品となっている。販売先は国内の小売店・量販店、食品



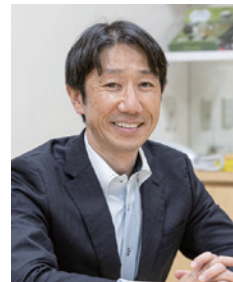
製菓部門のホームページ
<https://marto-sweets.jp/>

卸会社だけでなく、アメリカやアジア諸国など世界各国の食品バイヤーや輸入業者にも販売し、グローバル展開を図っている。また、他社ブランド商品としてOEM・受託製造も行っている。

お菓子は、シンプルながらも奥深さのある味わいになるよう試行錯誤を経て開発。自動製造ラインにより一つ一つ製造され、完成したお菓子は、徹底した管理体制の下で商品化される。パッケージデザインから印刷、後加工、梱包まで一貫体制を整えているのが、同社の強みでありビジネスモデルである。

代表菓子のバイクドーナツは、揚げずに鉄板で一つ一つ焼き上げたシンプルな洋菓子。生地にはアーモンド粉末を練りこみ小麦・卵白とともに風味豊かに仕上げることで、今までにない食感を生み出している。また、和菓子の「黒蜜きなこ餅」は、しっとりとした求肥餅で一口大福の形状。中身はコクのある沖縄県産の加工黒糖を用いた黒蜜を使用しているのが特長である。

同社では、今後も製品やサービスの品質を高めるための計画や手法であるプランニングクオリティを強化し、菓子製造業を一層強化し、発展させていくとしている。



今村社長